

平成28年9月 吉日

各 位

一般社団法人 J C 総研  
〒162-0826  
東京都新宿区市谷船河原町 11 番地  
飯田橋レインボービル 5 階  
電話：03-6280-7254

一般社団法人 J C 総研 第 49 回公開研究会 について（ご案内）

拝 啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃 当研究所の事業につきまして格別のご指導・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当総研では協同組合研究誌『にじ』2016年冬号にて「協同組合と平和」をテーマに特集を企画しております。その前段として協同組合研究者・実践家等との間で幅広く意見交換し議論を深めるため、下記のとおり公開研究会（第49回）を開催することとしました。ご多忙のところ誠に恐縮ですが、何卒ご出席賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. **開催日時**：平成28年10月22日（土） 13：00～17：00
2. **開催場所**：日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会  
東京都豊島区東池袋1丁目44-3 池袋ISPタマビル 8 階 A + B 会議
3. **研究課題**：「協同組合と平和」

協同組合は、一貫して平和の構築にむけた学習と実践に多大な労力を注いできました。これは紛れもない事実です。しかし他方、国策の圧力のもとにその土台が切り崩される局面も経験してきました。戦後の協同組合は、そうした運動の弱さの乗り越えを意図してきましたが、まだ途上にあります。今日、安保法制や武器輸出の規制緩和等に象徴されるように、戦争を「市場」と見做す政治的・経済的狂気が広がる時代にあって、協同組合の実践(事業や組合員・職員の活動)にしっかり織り込まれた平和の探求が、単位協同組合からそのローカルなネットワーク、そして国際協同組合運動のレベルにいたるまで、あらゆる場面で拡充されるべき段階にあることは言うまでもありません。

上記のような問題意識のもと、本特集では、協同組合と平和のつながりをめぐって、3つの視点(歴史的考察およびグローバルな視点、組合員が主体となって展開してきた平和活動、日々の事業の中に織り込まれている平和産業としての協同組合の可能性と役割)で議論を深め、実践を学びあいます。

4. **報 告**：

- ・第1報告「協同組合が平和の担い手となるための歴史的教訓」（仮題）  
報告者 石見 尚 氏（日本ルネッサンス研究所 代表）
- ・第2報告「協同組合間協同で取り組む平和運動ー協同組合ネットいばらきを事例にー」（仮題）  
報告者 佐藤 洋一 氏（協同組合ネットいばらき 代表／茨城県生協連 会長理事）
- ・第3報告「労協が取り組む平和の構想」（仮題）  
報告者 藤田 徹氏（一般社団法人日本社会連帯機構 理事）

5. **参集範囲**： 協同組合の研究者、協同組合・関係団体の役職員 等

6. **事務局**： 中原 直樹    tel： 03-6280-7289    Eメール： n-nakahara@jc-so-ken.or.jp

以 上